

# 新岡山県環境基本計画(改訂版)(仮称)のポイント (エコビジョン2020)

## 1 見直しに当たっての観点

- 環境に関する新たな国際ルールの策定や東日本大震災の影響など社会情勢や環境問題を反映
- 第3次夢づくりプランや関連する各種計画の内容を反映  
関連計画：地球温暖化防止行動計画、岡山県廃棄物処理計画、生物多様性おかやま戦略など
- 新たな法令等へ対応  
関連法令：小型家電リサイクル法、水質汚濁防止法の改正など
- 県民の意見を聞く会でいただいた意見や提案などをそれぞれ整理したうえで、可能な限り反映
- 環境に関する県民等意識調査などの結果を、主に重点プログラムに掲げる事業の選択及び今後の進め方に利活用

## 2 主な見直し箇所

### 第1章 基本的事項 (P1～)

- (1) 東日本大震災の影響など社会情勢の変化を反映
  - ・「3計画策定の背景(1)変化する社会情勢への対応(P2～)」に、「②地方分権の進展」、「③東日本大震災を契機としたエネルギー構造等の転換」「④グリーン成長と地域産業の振興」の項目を新たに設定
- (2) 地球温暖化や生物多様性など環境問題に関する状況の変化を反映
  - ・「3計画策定の背景(2)環境問題を取り巻く状況への対応(P4～)」に「④生物多様性を育む豊かな自然の継承」、「⑤安全・安心な生活環境の確保」の項目を新たに設定するとともに、「①地球温暖化対策の推進」を大幅に修正

### 第2章 計画の目指すべき姿 (P13～)

- (1) 掲載内容の簡素化
  - ・現計画の改訂版であるため、目指すべき将来を導き出すシミュレーション及び第1章及び第3章等で重複して記載していた内容等を省略
- (2) 新エネルギーの導入促進
  - ・目指す将来のイメージ(P15～)を基本目標毎に整理し、震災後に重要性が増してきた新エネルギーについて追記

### 第3章 主要施策 第4章 重点プログラム (3章P19～、4章P45～)

- (1) 基本目標1 地域から取り組む地球環境の保全 (3章P20～、4章P46～)
  - ・「現状と課題」を変化する社会情勢等を受け大幅に修正

- ・主要施策の「新エネルギーの導入促進」に、主要施策（２）、重点プログラム（８）を新たに盛り込み重点化
  - ・「省エネルギーの推進」に関しても、重点プログラム（２）を新たに盛り込み取組をさらに強化
  - ・「国際貢献」に重点プログラム（１）を新たに盛り込む
- （２）基本目標２ 循環型社会の形成（３章P25～、４章P53～）
- ・「第３次岡山県廃棄物処理計画」の策定等状況の変化を反映
  - ・新たに制定された小型家電リサイクル法を受け、重点プログラム（１）を盛り込む
- （３）基本目標３ 安全な生活環境の確保（３章P29～、４章P58～）
- ・「第６期湖沼水質保全計画」の策定等状況の変化を反映
  - ・県内の自動車保有台数の減少を受け、代表的な指標の集計方法を変更
  - ・水質汚濁防止法の改正を受け、有害物質による土壌・地下水汚染防止対策を主要施策に反映させるとともに重点プログラム（１）盛り込む
- （４）基本目標４ 自然と共生した社会の形成（３章P35～、４章P65～）
- ・策定中の「生物多様性おかもやま戦略」等状況の変化を反映
  - ・「野生生物の保護」に希少野生生物の保護と野生鳥獣被害防止の観点から重点プログラム（５）を分割するなどして強化
- （５）推進目標１ 参加と協働による快適な環境の保全（３章P39～、４章P69～）
- ・環境教育等促進法の改正を受け、主要施策（１）、重点プログラム（３）を新たに盛り込み取組をさらに強化
  - ・県民一人ひとりの参加を促すため、主要施策（１）を新たに設けて、各基本目標で掲げている重点プログラムを再掲
- （６）推進目標２ 環境と経済が好循環する仕組みづくり（３章P42～、４章P74～）
- ・グリーン成長の推進の観点を新たに盛り込み、主要施策（２）、重点プログラム（５）を盛り込む

## 第５章 計画の進め方 （P79～）

- （１）P D C AサイクルのC（チェック）の充実・強化
- ・県民の意見を聞く会の通年開催など施策の実施状況及び目標指標の達成状況を県民等にお知らせする機会の拡大
  - ・岡山県環境白書など公表資料のさらなる充実
- （２）プロジェクト推進会議の再編整理
- ・変化する環境問題に柔軟に対応できるよう、現行のプロジェクト会議を整理